

## EA116PE(エアコンプレッサー)取扱説明書

このたびは、当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品を安全にご使用頂きます為にも、取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。



### 注意

- ・コンプレッサーを始動させる前に、エアフィルターをピストンヘッドにねじ込んでください。  
〔梱包時、搬送の都合上、取り外してあります。  
移動の際にはぶつけない様にするか、取り外して保管して下さい。〕
- ・コンプレッサーを始動させる前にオイル栓を外し、オイルプラグに差し替えてください。
- ・コンプレッサーを始動させる前に、付属のオイルを必ずクランクケースに注入して下さい。  
(梱包時、搬送の都合上、オイルを抜いた状態にしてあります。)
- ・コンプレッサーに車輪を取り付けてください。  
(ネジ2個と車輪2個が付属しています。)



### 仕様

- ・電源…100V 50/60Hz
- ・定格出力…1.12kW
- ・回転数…1450(50Hz)/1720(60Hz) rpm
- ・吐出し空気量…110L(50Hz)/130L(60Hz)
- ・自動圧カススイッチ及びレギュレーター付
- ・タンク容量…30L
- ・最高使用圧力…0.78MPa(8kg/cm<sup>2</sup>)
- ・サイズ…600X260X590mm
- ・重量…33kg
- ※付属オイルあり

### 各部名称



### 使用上の注意

- ・電気ショックを防止するため、適正なアース(接地)をして使用してください。
- ・コンプレッサーを、濡れた場所や爆発の起こりやすい状況下では使用しないでください。
- ・電気部分に加工を加えないでください。
- ・安全バルブは工場出荷時に調整されていますので、加工しないでください。
- ・圧カススイッチは工場出荷時に調整されていますので、加工しないでください。
- ・コンプレッサーは使用中に熱くなりますので、モーターの稼働中は熱を持つ所に触れないで下さい。
- ・コンプレッサーは電源と接続して、スイッチを入れている間は、タンクに空気がたまりとモーターはストップします。空気が減少したら再び自動で圧縮します。
- ・コンプレッサーの圧カス空気は、一酸化炭素を含んでいますので呼吸用には使用できません。
- ・ペンキや薬品を散布する時は、防護マスクを着用してください。
- ・エア使用時は、防護メガネを着用してください。
- ・過圧を避ける為、安全バルブがセットされていますので、加工したり外したりしないでください。  
時々バルブのリングを引いて操作してみてください。
- ・エアータンクを溶接したり、穴を開けて加工しないでください。

### 設置

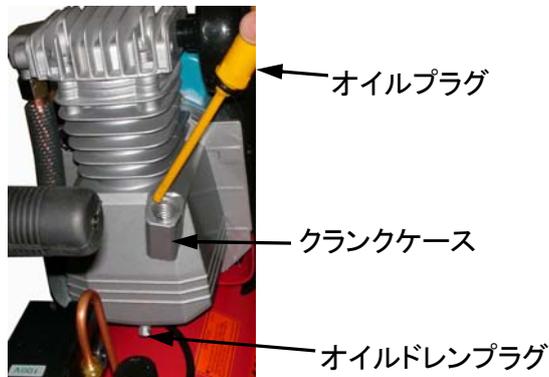
- ・コンプレッサーは、清潔で充分換気のできる場所に設置してください。
- ・コンプレッサーは、壁や障害物から最低30~45cm以上離してください。
- ・コンプレッサーは、水平でしっかりした場所に置いてください。
- ・コンプレッサーの空冷フィン、常に清潔にすると長持ちします。
- ・コンプレッサーの稼働中に、上に布や他の物などを置かないでください。

◆ コンプレッサーへの注油

- ・適正なコンプレッサーオイルを使用してください。
- ・コンプレッサーの稼働中に、オイルを交換・補充しないでください。

● オイルの注入

- ① オイルプラグを外します。
- ② コンプレッサーオイルをクランクケースにゆっくり入れます。
- ③ オイルプラグ先端の部分にゲージがあります。  
静止状態でオイルプラグを差し込み、再度抜き、その中央にオイルが付着すれば適正な量です。  
〔 オイルは少なすぎるとモーターが焼き付き、多すぎるとピストンに  
悪影響を与えますので注意してください。〕



● オイルの交換

稼働300時間毎か3ヶ月毎に行ってください。

- ① オイルプラグを抜いて、オイルドレンプラグを外します。(古いオイルを排出してください。)
- ② オイルドレンプラグを戻します。(プラグにシールテープを巻くと漏れません。)
- ③ コンプレッサーオイルをクランクケースにゆっくり入れます。
- ④ サイドレベルの中間の位置にオイルが見えれば適正な量です。

※コンプレッサーを始動させる前に、ナットやボルトがしっかり締まっているか確認して下さい。

◆ 初期始動時

\* 写真はEA116SD、場所は共通

1. ドレンプラグを全開にします。
2. 電源にプラグを差し込みます。  
(スイッチボックスのノブを引き上げるとON、押し下げるとOFFです。)
3. 無負荷で10分間運転してください。
4. ドレンプラグを締めて準備完了します。  
〔 自動圧力スイッチが装備されており、セット圧力0.78MPa(8kg/cm<sup>2</sup>)で  
OFFになり、0.59MPa(6kg/cm<sup>2</sup>)でONの状態になります。〕

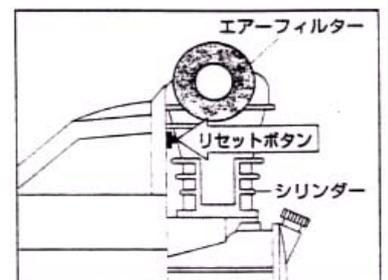


◆ 圧力調整(二次側・出口側圧力)

レギュレーター・のノブを左に回すと、二次圧力は低くなります。反対側に回すと高くなります。  
一次側圧力はタンク内の圧力を示すものです。

◆ サーキットブレーカースイッチ

ピストン横にサーキットブレーカースイッチがあります。  
これは、モーターに通常運転以上の(12Aを超える)電流が流れた時、  
または130℃以上に過熱した場合に働き、自動的に運転がストップします。  
この場合は電源を抜き、15~20分経過後にモーターの温度を  
下げてから、黒いリセットボタンを押して下さい。



◆ メンテナンス

メンテナンスや調整する前に、安全の為に下記の事を実行してください。

- ・電源からプラグを抜いてください。
- ・タンクから圧力空気を排出してください。

## ◆ チェックリスト

1. 使用前の点検
  - ・オイルレベルのチェック
  - ・空気圧力チェック
  - ・不規則ノイズや振動のチェック
  - ・ボルトナットの締め付け確認
2. 週点検
  - ・エアーフィルターは、常にきれいにして おいて下さい。
3. 月点検
  - ・各接続部から漏れがないか、石鹸水などでチェックして下さい。
  - ・もし漏れ箇所が有れば増し締めして下さい。
4. 使用300時間毎
  - ・コンプレッサーオイルを交換して下さい。
  - ・コンプレッサーを、ペンキスプレーやホコリの多い場所で使用される場合は、オイルは頻繁に交換して下さい。



改造はしないでください。

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業行程に支障を来す場合があります。